

平成25年度 算数科教育にかかわる現状と課題

部長 小川弘実

1 算数科教育の動向

○ 上越地区

上越市では、大学教授の講演会と学習指導改善調査研究事業の協力校の実践報告会を通して「思考力・判断力・表現力を高める授業」について研究を進めた。柏崎市刈羽郡では、市教育センターの研修講座への参加と授業研究会を通して、「思考力・表現力を育む算数的活動」について研究を進めた。糸魚川市では、市教委と共催の「優れた授業に学ぶ会」や授業研修会を通して「表現する能力」に焦点化して研究を進めた。妙高市では、算数科における言語活動の充実という視点から授業公開や実践レポートの発表を通して研究を進めた。

○ 中越地区

長岡市・三島郡では、「思考力、表現力を育む算数的活動の工夫」について授業研究会を重ねながら研究を進めた。南魚沼市では、市学習センターとの共催研修会と授業研究会を通して、「学ぶ楽しさや有用感の育成」について研究を進めた。加茂市・南蒲原郡では「学びの連続性」を、三条市では「子ども同士のかかわり」を、魚沼市や小千谷市では「学力向上のための授業改善」をテーマに授業研究を中心に研究に取り組んだ。見附市では「全国学力状況調査B問題に対応できる力を伸ばす」ための取組を進めた。燕市・弥彦村では「基礎基本をいかした活用の工夫」を、十日町市・中魚沼郡では「活用力を育む授業の工夫」をテーマに活用力の育成に重点を置いた研究を進めた。

○ 下越地区

新発田市・北蒲原郡では「子どもが主体的に取り組む算数授業」を、村上市と阿賀野市では「思考力・判断力・表現力を育てる」をテーマに、師範授業などの授業研究会の実践を行った。五泉市と胎内市では「授業力の向上」を目指した講演会や授業研究会を行った。佐渡市では「言語活動の充実・学び合い」について授業研究会を通して研究を進めた。東蒲原郡では「表現力の育成」について講演会や授業研究会を通して研究を行った。

○ 新潟地区

数学的な考え方を育てるための手だてとして、「課題」と「かかわり」の2点に焦点を絞って研究を進めた。市内の小学校9校での実践をもとに有効な手だてについての検討が進んだ。

2 算数科教育の課題

- 各郡市とも、師範授業や授業研究会など実践的な研究に取り組んでおり、全国学力状況調査においてもそれらの成果が現れてきている。今後も算数的活動を一層充実させながら、論理的な考えや数学的な解釈・表現などを大事にした授業を実践し、個々の学びをより確かなものにする必要がある。